



2024年度年末手当の たたかいについての意見集約

2024年度の夏季手当は、2023年度期末決算が上方修正した業績予測を上回る決算にも関わらず、2.7ヶ月という要求(3.3ヶ月)とはかけ離れた回答が出されました。また、議論時期が24春闘と同時期となり、確定した期末決算やゴールデンウィーク輸送等の組合員の労働実感に基づいた議論がなされていません。その為、JR東労組は「夏季一時金」として一律20万円を要求し団体交渉を行いました。会社は「夏季一時金を支払う考えはない」と回答しました。

また、全系統の職場から要員が逼迫し、業務量の増加や休日勤務等により疲弊している悲痛な声が挙げられています。一方でインバウンド需要が回復し鉄道利用者や訪日旅客が増加している現実やコストカットなどの黒字経営に向けて奮闘してきた労働実感があります。それに加え、相次ぐ生活必需品や食料品、電気代、ガソリンなどの大幅な値上げにより、日々の生活が厳しくなっている実感もあると思います。そのような中で、好調な業績を創り出している組合員・社員の努力に報いた回答を会社はするべきです。皆さんの意見を集約し議論を行い年末手当のたたかいそして、その先の25春闘へと繋げていきます。是非皆さんの声を聞かせて下さい。

Check!



上記のバーコードを読み込んで下さい。
JR東労組組合員の方はもちろんのこと、
どなたでも回答する事が出来ます。
ご協力をお願いします!

